

熊野古道伊勢路語り部友の会 注意点

本語り部の案内中の事故等については、当会及び語り部個人のいずれも一切の責任を負いませんのでご了承ください。不慮の事故に備えて、旅行保険等に参加していただきますようお願いいたします。

① 熊野古道伊勢路語り部友の会がご案内させていただく基本ルートは下記のとおりです。

- 1) ツヅラト峠(紀北町)
- 2) 荷坂峠(紀北町)
- 3) 一石峠・平方峠・熊ヶ谷道(紀北町)
- 4) 始神峠(紀北町)
- 5) 馬越峠(紀北町～尾鷲市)
- 6) 八鬼山越え(尾鷲市)
- 7) 三木峠・羽後峠(尾鷲市)
- 8) 曾根次郎坂・太郎坂(尾鷲市～熊野市)
- 9) 二木島峠・逢神坂峠(熊野市)
- 10) 波田須の道・大吹峠(熊野市)
- 11) 観音道(熊野市)
- 12) 松本峠(熊野市)
- 13) 横垣峠(御浜町)
- 14) 風伝峠(御浜町～熊野市)
- 15) 通り峠(熊野市)
- 16) 浜街道(北)(熊野市～御浜町)
- 17) 浜街道(南)(御浜町～紀宝町)

② 基本料金は、必要経費(実費相当:交通費、燃料代、通信費等)として語り部1人につき1日1峠5千円を、峠の語り部案内が終わり次第、直接お渡し下さい。

なお、(5)八鬼山については1万円となります。1日2峠の場合は1万円となります(八鬼山含む場合は1万5千円)。英語による語り部の料金についても、日本語と同様とします。

③ 熊野古道伊勢路語り部友の会は、東紀州地域の熊野古道や史跡等についてご説明させて頂くことを主な活動としております。

スポーツトレッキングや、登山の道案内は活動外となっておりますので、歩行につきましては参加者の方々が各自でご注意いただきながら、語り部のペースで歩いていただきますようお願いいたします。

④ 依頼は原則として催行日の2週間前には行ってください。

担当語り部の決定通知は、通常、希望日時の1週間前までにメール等にてご連絡いたします。

担当語り部が決定しましたら、当日の待ち合わせ時間、場所等の打ち合わせは、前日までに語り部全員へ直接連絡を取って済ませてください。

※キャンセルする場合は、至急ご連絡ください。(語り部決定後のキャンセルについては、語り部全員へ直接ご連絡ください。) キャンセル料は無料です。

⑤ 熊野古道歩きの主催者の皆様へのお願いですが、参加される方には、履き慣れた靴、山歩きの服装、雨具をご用意していただくようお願いいたします。また、お持ちでしたら使い慣れた杖をご持参下さい。携帯電話をお持ちの方は、歩く前に十分に充電しておいてください。

- ⑥ お客様に安心して安全に歩いていただくためにも、バス 1台につき 1名の添乗員をつけてください。(語り部 1名がご案内する人数は原則 20名までとさせていただきます。)
- ⑦ お客様と語り部の安全確保のため、次の(1)(2)のいずれかに該当する場合は、語り部案内の実施は致しません。予めご了承下さい。
- (1) 案内予定地域に警報が発令されている場合。(但し、波浪・高潮警報は除く)
- (2) 当日の古道の状況により語り部が危険と判断した場合。
- ※(1)の場合は、警報が発令された時点で適用となります。
- ※当日、悪天候が予想される場合は、気象庁の発表に十分ご留意下さい。
- ⑧ 行程には余裕をもった時間設定をお組みください。特に下山する時に夕暮れ時にさしかかれば、精神的にも不安になり、事故・遭難の危険性が高くなります。
- ⑨ 新規語り部養成の一環として、お手配の語り部以外が同行させていただく場合がございます。この場合は、前日までにご連絡いたします。

紀伊山地の参詣道ルール

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」は、万物、生命の根源である自然や宇宙に対する畏敬を、山や森に宿る神仏への祈りという形で受け継いできた、日本の精神文化を象徴する文化遺産です。

私たちは、このかけがえのない資産がもたらす恵みを、世界の人々がいつまでも分かちあえるよう、参詣道を歩くにあたって次のことを約束します。

1 「人類の遺産」をみんなで守ります。

紀伊山地の自然や文化にふれ、学び、私たち共有の資産の素晴らしさを、みんなの力で末永く後世へ伝えましょう。

2 いにしえからの祈りの心をたどります

この道には、祈りを捧げてきた多くの足跡が刻まれています。今なお続く人々の心に思いを馳せながら歩きましょう。

3 笑顔であいさつ、心のふれあいを深めます

出会った人と声をかけあい、また地域の人々とも交流を図りましょう。

4 動植物をとらず、持ち込まず、大切にします。

貴重な動植物が生息する紀伊山地では、存在するもの全てが大切な遺産です。自然を愛し、守る心を持ち続けましょう。

5 計画と装備を万全に、ゆとりをもって歩きます

道中は何が起こるかわかりません。中には険しい道もあるので、天候、体調、装備などを十分考えて、無理をえず歩きましょう。

6 道からはずれないようにします

道をはずれることは危険であり、植生などを傷めることにもなります。むやみに周囲に踏み込まないようにしましょう。

7 火の用心をこころがけます。

タバコのポイ捨てなど、ちょっとした不注意から火災は起こりなす。火気の取り扱いには十分注意しましょう。

8 ゴミを持ち帰り、きれいな道にします

地域の人たちが古くから守りつづけてきた道です。ゴミを持ち帰り、来た時よりも美しい道にしましょう。 _